

古賀市議会議員 子どもたちの夢がかなう まち

〒811-3114
古賀市舞の里2-15-21
TEL/FAX 092-944-3773



森 まき NEWS

2026年1月 vol.11

f 森まき
Facebook

森まき
Instagram

森まき
公式LINE



新年あけましておめでとうございます。

市政や議会活動への温かいご支援と多くのご意見をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年は酷暑・熊本・東北の地震・物価高騰など暮らしや安全が課題になった1年でした。そんな中で、防災・安全対策、地域交通、駅周辺整備や地域の賑わいづくり、人権・平和など様々な課題に向き合い、皆様の声を議会で議論や提案を行ってまいりました。

皆様から寄せられた声はこれから古賀市をよりよくしていくための大切な力となっています。



本年も、「現場に足を運ぶ」「声を聞く」「行動する」という姿勢を大切にし、子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

また、必要な情報をわかりやすくお伝えし、市政への参加や意見を届けやすい環境づくりに努めてまいります。

皆様にとって健やかで穏やかな一年になることを心よりお祈りするとともに、本年も変わらぬご支援・ご意見を賜りますようお願い申し上げます。

古賀市議会議員 社民党 森 まき

補整予算

自動運転バス実証運行

バス運転士不足の中で、持続可能な公共交通体系に取り組むため、自動運転バスの導入に向け、実証運行や車両リースに8,200万円余りの補正を行いました。

本年度はJR古賀駅一国道3号線一JRしぶ駅の区間でレベル2の実証運行を行い、2026年度は小竹線経由コスモス館まで延伸して実証運行、2027年度には一部区間でレベル4の自動運転を実現、JR古賀一しぶ駅一グリーンパーク間で営業運行を予定。

技術は目覚ましく進歩していますが、レベル3の技術を持つメーカーは世界でもまだ僅かのよう、運行を支援する走行環境の整備も必要のようです。

一方高齢化も進み外出促進に必要な公共交通の必要性は高まっており、便利で使いやすい公共交通が求められています、こうした対応もしっかり取り組むよう求めました。

運行レベル			
レベル	運転の主体	運行車両	国内の導入状況
1	運転手	運転支援車	新型車に搭載
2	運転手	運転支援車	市販車に搭載
3	システム	条件付き自動運転車	公道走行が可
4	システム	特定条件下で自動運転車	専用道路で運行可
5	システム	条件なし完全自動運転車	



【3頁 一般質問に関連記事】

豪雨に対応

今年8月の豪雨により被害を受けた農業者の支援や内水氾濫などの対策に補整を行いました。

豪雨被災農家を支援

豪雨により被害を受けた農業機械の修理・再取得・被災施設の復旧などの他、被害にあった農作物の植え替えなどを行います。



豪雨で農業被害も

2026年3月議会は

2月26日

開会予定です。

皆さまの声をお聞かせ下さい。

内水氾濫に止水板補助

建物への浸水被害を軽減するため、止水板設置の補正を行いました。

【補助の対象】

- 市内の住宅、マンション、店舗、事務所、工場等の既存建物で、床上浸水、床下浸水被害を受けた建物。
- 古賀市総合防災マップで洪水・土砂災害ハザードマップの内水浸水想定区域(0.5m～3m未満及び3m以上)内に立地する建物。

【補助の内容】

- 床上浸水 : 1/2補助、上限40万円
- 床下浸水及び内水浸水区域内 : 1/2補助、上限20万円

【スケジュール】

- 令和8年1月5日から2月27日まで申請受付
- 令和7年度中支払

【問合せ先】

- 古賀市上下水道課 092-942-1118

森 まき の一般質問



子どもの権利条例の必要性や、子どもの声を市政に反映する仕組みづくりについてと、高齢化が進む事から高齢者の経験を生かした活躍支援や外出促進、見守り体制の強化など、安心して暮らせる環境づくりが進むよう質問しました。

子ども政策の柱に「子どもの権利条例」を

森 いじめ、不登校、虐待、ヤングケアラーなど、子どもの人権に関する相談はどのような状況か。

保健福祉長 2024年度の児童相談は延べ4,753件で、育児・しつけ・不登校などが1,037件、虐待相談は1,019件だった。教育委員会、児童センターとの連携や学校訪問などを通じ対応している。

森 こども計画は、子どもの権利を基盤とした包括的な取り組みだが。子どもの参画や、意見表明の場は設けているか。見直しや、結果はどのように示すのか。

保健福祉部長 毎年、担当課が進捗を確認、PDCAで改善し、子どもの意見はワークショップやパブリックコメントで取り入れ、見直しや結果はHPで公表する。

森 古賀市こども計画は、子どもの権利と幸せを守る重要な計画です。子どもの笑顔と成長につながる取り組みとなるよう、今後も注視したい。

森 子どもたちの意見や提案を反映し、実際に参加できるようタブレットを使った子どもの声を聞く窓口や意見募集の仕組みなどを設けては？

教育部長 Googleフォームなどを活用し意見の募集や提案を伝える仕組みを構築している、今後も子どもの声を聞くことが充実するよう努めたい。

森 すでに福岡県は、60%を超える県民が『子どもの権利条例』のもとで暮らしている。市長はチルドレンファーストを掲げている。本市の人権と多様性の尊重の政策に基づくが、子どもの権利条例はどのようにお考えか。

市長 人権保障は行政の最重要責務であり、子どもを権利の主体としてその声を聞く取り組みを進めている。他自治体の「子どもの権利条例」も認識したうえで、既存の条例の中で子どもの権利保障を重視し、子どもと子育てを大切にする姿勢をもっている。



「子どもの権利条例」
広がる条例制定の輪



森 古賀市子ども基本子育て支援条例には、子どもの人権権利は示されておらず、市長は必要性を認識されている、その精神が確実に受け継がれるよう、文章として明記するべきではないか。

市長 子どもの権利を尊重した子育てしやすいまちづくりを進めている。理念は共有できており、個別の条文の文言については今後意見を聞きながら進めたい。

高齢者の識見や経験を活かし、健やかに暮らせるまちに



森 古賀市でも人口減少が見られるが、高齢者は増えている、高齢者の識見や経験を活かし、健康に働き、安心して暮らせることが求められている、どのようにお考えか。

市長 若い世代を育ててくれる高齢者の働きを実現する前提は健康であることが大切。年齢に見合った働き方を社会が制度上も保障すべき。

森 消費生活センターは遠くて気軽にに行けないと、いう高齢者の相談もある。リーパスプラザや、公民館での開催など検討できないか。

建設産業部長 オンライン開催や、出張相談も含めて今後検討したい。

森 高齢者の健康維持などに外出促進事業が行われているが70歳おでかけバスは利用が複雑で利用も低い、改善が必曜ではないか。

保健福祉部長 高齢者の皆様が外出したくなる事業の充実や、利用拡大につながる手続方法を研究したい。

活動報告 と お知らせ

地域の課題や気づきの声

議会や地域のことを気軽に話せる場として「おしゃべり会」を開催しました。

参加者のみなさんから地域の課題や日々の気づき、たくさんの声をいただきました 😊

「また集まりたい！」という嬉しいお言葉もあり、心があたたかくなる時間になりました ✨

ご参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

これからももっと多くの方と多くの場所で気軽に話せる場をつくります。



JR古賀駅西口 活性化へ

古賀市は、古賀駅周辺の滞留性と回遊性を高め、活性化を図るため、2024年8月『JR古賀駅西口周辺整備基本方針』を策定しました。2025年度の『古賀駅前まるごと遊び場プロジェクト』は10月18日～26日の9日間、JR古賀駅西口の駅前広場と周辺道路の一部を通行止めにして実施され、古賀市内外から多くの参加がありました。

市民アンケートも行われ、頂いたご意見は今後の駅前整備に活かされる予定です。今後も、取り組みを注視してまいります。



社民党福岡県連合 『公式LINE』を開設

皆様へより迅速にいつでもどこでも情報をお届けする

『社民党 福岡県連合 公式LINE』を開設しました！

どなたでも参加できるオープンな情報発信ツールです。

イベント情報や活動報告など、最新のお知らせを受け取れる

ほか、県連合ホームページにもスムーズにアクセスできます。ぜひお気軽にご登録ください！



みなさまの声をぜひ
『歩くご意見箱 森まき』
へお聞かせください。

f 森まき
Facebook

森まき
Instagram

森まき
公式LINE



@SENZHENXIB

HUGっこ
子ども食堂「たまりんば」
「たまりんば」公式アカウント
食材の提供、ご支援はこちらまで↓



職場での困りごと悩みごと
など1人で悩まずここへ相談
まずはお電話で。

ふくほくユニオン

☎092-719-1980

(相談無料)

